

会 議 録

会 議 名	令和5年度第4回東松山市都市計画審議会					
開 催 日 時	令和6年3月25日（月）			開 会	午前10時00分	
				閉 会	午前11時00分	
開 催 場 所	東松山市役所 総合会館4階 多目的ホールB					
会 議 次 第	1 開会 2 挨拶 3 議事 (1) 諮問事項 ・議案第1号 東松山市立地適正化計画の改定について (2) その他 4 閉会					
公開・非公開の別	公 開		傍 聴 者 数		1 人	
非公開の理由 (非公開の場合)	—					
委員出欠状況	第1号委員	石川 浩一	出	第2号委員	田中 二美江	出
	同上	小峰 良介	出	同上	米山 真澄	出
	同上	清水 真人	出	同上	平澤 牧子	出
	同上	須長 則明	出	第3号委員	奥 広文	欠
	同上	中井 正則	出	同上	吉田 義彦	出
	第2号委員	斎藤 雅男	出	第4号委員	加藤 幹雄	出
	同上	安藤 和俊	出	同上	松崎 淳一	出
事 務 局	都市計画部長 笠原 勉			都市計画課主査 大塚 貴夫		
	都市計画部次長 細野 康弘			都市計画課主任 小池 将太		
	都市計画課長 田嶋 徹夫			都市計画課主任 田中 幸太		
	都市計画課副課長 石川 智之					

次 第	発 言 者	顛 末
1 開会	事務局	<ul style="list-style-type: none"> ● 開会宣言 ● 委員出席状況の報告
2 挨拶	山口副市長 事務局 小峰会長	<ul style="list-style-type: none"> ● 山口副市長挨拶（挨拶後、副市長退席） ● 職員紹介 ● 配布資料確認 ● 小峰会長挨拶 ● 議事録署名委員に清水委員と須長委員を指名 ● 会議の公開及び傍聴者の有無について確認 ● 傍聴者入室
3 議事 (1) 諮問事項	事務局 米山委員 事務局 米山委員 田中委員 事務局	<ul style="list-style-type: none"> ● 議案第1号「東松山市立地適正化計画について」説明 ● 質疑応答（○：質疑・意見、◇：回答） <p>○132ページ、防災指針の位置付けの文章中に、決壊・欠損した河川の内容が記載されているが、市野川のことも記載した方が、全体として漏れがなくまとまって良いのではないかと。</p> <p>◇ご指摘のとおり、市野川も大きな課題がある河川として認識している。158ページのエリア別に課題をまとめたページでは、市野川についてもしっかりと位置付けを表記しているため、表記についてはこのままにさせていただきます。</p> <p>○158ページに表記されているので良いという思いもあるので、このままの表記で結構である。</p> <p>○入間川流域緊急治水対策プロジェクトについて、順調に進んだ場合は令和15年頃までに整備されるという話を以前に伺ったが、それまでの間にどのように地域を守っていくのかというのは、この計画の中にしっかり盛り込まれているのかどうかお聞きしたい。</p> <p>◇入間川流域緊急治水対策プロジェクトの進捗については、国で最初に取り組むこととしては、河道の掘削と樹木の伐採をして河川の流れをスムーズにするこ</p>

		<p>と併せて、堤防の強化を図るということを当初から進めていて、その取り組みはおおむね終了に近づいていると認識している。委員の質問は遊水地のことだと思うが、終わりの目標を立てずに進めていると認識している。立地適正化計画との関わりについては、プロジェクトの進捗そのものを記載しているわけではないが、そのような国等のプロジェクトとも連携を図っていることを盛り込んでいる状況である。</p> <p>平澤委員 ○地震が発生した際に、その地域にある工場からの有害物質が川に流れ込んだり、空気中に放出されて風に流されてくることを想定する必要があると思うが、実際はどうか市は把握しているのか聞きたい。</p> <p>事務局 ◇災害時の避難などを考える上では重要な部分だと思うが、実際そのような部分についての対応や把握については、今回は行っていない。いただいたご意見も含めて、危機管理を担当する部門と共有しながら、今後の様々な計画の中で必要なものについては対応していくことになると考えている。</p> <p>斎藤委員 ○居住誘導区域に浸水想定区域が含まれることの説明が事務局からあり、防災指針で施策をある程度示すべきであると思っている。車中泊の車で数時間、避難所となった学校の校庭がいっぱいだったという話を聞いたことがあるが、例えば、防災指針に記載してある取組は公共的な避難所のことであり、民間の事業所など活用について具体的に示していただきたい。</p> <p>また、居住誘導区域に3 m以上の浸水想定区域があり、防災指針には都市公園に浸水深を表示する取組が記載されているが、公共施設以外でも官民共同で取り組むことも必要だと考える。</p> <p>事務局 ◇①立地適正化計画については、居住誘導区域これはほぼ市街化区域と同じであるが、この区域における対策を中心的に記載させいただいている。避難所については、この計画の中で新たに位置付けることは行っていない。例えば避難所に関する部分については、165ページに避難場所の確保、それから福祉避難所の充実</p>
--	--	---

		<p>強化ということで、それぞれ、地域防災計画や国土強靱化地域計画などに記載があるものを抽出し、記載している。また、商業施設や民間施設の有効活用のご意見は、災害時の避難場所の確保にも繋がると思うので、庁内の関連するところと共有し課題として認識させていただく。</p> <p>なお、公園にこの辺りまで浸水が予想されますよというような表記をしながら、住民の皆さんの防災意識を高める取組にも努めていきたいと考えている。</p> <p>○地域で1番身近な避難所は、地域の自治会で運営・設置している自主避難所である。一時的な避難を考えたときに、浸水深の表記が必要なのは公園だけではないと考える。要望として、防災担当としっかり連携を取っていただきたい。</p> <p>○参考資料の5ページ、No.23とNo.24に関連するが、防災指針に地震の内容は盛り込まず、次回の改定のタイミングで検討するとある。埼玉県地震被害想定調査では、被害に関する様々な数値が資料で示されているが、次回の改定ではこれらの資料を基にした内容を付け加えていただきたい。</p> <p>◇危機管理防災課で所管をしている地域防災計画でも、今年度、地震被害想定調査の数値を基に計画が改定されている。当然、地域防災計画と連携する形で立地適正化計画についても協議をしながら進めている。ご指摘をいただいた様々な指標や数値等を把握した上で地域防災計画は作られていると認識しているので、追記は行わない。</p> <p>○東松山市では外国人の住民が3,000人ほどと把握されているようである。いざ地震が起きたときには避難所に行ったり、食べ物、飲み物もシェアすることになると思うが、言葉が通じず識字率が低い方に対する対策についても、水位がここまできるとういことが絵でわかるようにしたり、英語で表記するなどして誰にでも分かるようにすべきであると思う。今後日本では外国人が増加すると思うので、そのようなことも踏ま</p>
	齋藤委員	
	加藤委員	
	事務局	
	平澤委員	

		えて計画していくべきであると思う。
	事務局	◇外国人の方が増えていることは認識している。公園への浸水深の表記などについては、外国人だけを意識した記載ではないが、小さなお子さんも含めて、誰が見ても分かるという視点も心掛けながら、災害対策の意識を高めることも意識して取り組んでいきたい。
	安藤委員	○立地適正化計画が4月に改定された上で、地域防災計画など他の分野の計画についても改定していく流れなのか。
	事務局	◇地域防災計画は近々更新されると認識している。今回の改定の内容については、調整をさせていただいているので、齟齬がないようにしているが、今後、関連する計画が修正された場合には、必要に応じて立地適正化計画を修正する可能性もあると認識している。
	松崎委員	○策定から5年ということで、まだ道半ばかと思う。現状は立地適正化計画のとおりにはなっていないと思うが、今後、市街化区域の変更や新たな土地区画整理事業の実施などの予定はあるのか。
	事務局	◇市街化区域の範囲を広げる予定はない。新規の区画整理事業については、東松山都市計画の範囲で考えると、複合都市計画ということになり、吉見町、嵐山町、滑川町が含まれる。その都市計画区域では、吉見町で予定されていると思うが、東松山市内で新規で予定されている土地区画整理事業は現時点ではない。
(3) その他	小峰会長	● 議案第1号について採決（全会一致で賛成） 議案第1号「東松山市立地適正化計画について」は、原案のとおり賛成し、その旨市長に答申する。
	事務局	● 立地適正化計画の改定版については、4月中の公表を予定している。委員の皆様には準備ができ次第、印刷した冊子をお送りさせていただく。
4 閉会	笠原部長	● 笠原部長挨拶

	事務局	● 閉会宣言
上記会議の顛末を記載した内容について、相違ないことを証します。		
令和 6年 4月12日	署名委員	<u>清水 直人</u>
令和 6年 4月15日	署名委員	<u>須長 則明</u>